

資料

資料1 <アンケート調査結果>から

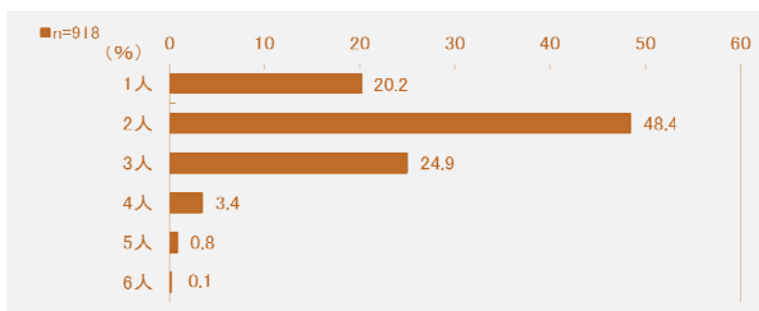
(注1) 以下の内容は「北茨城市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査結果報告書」から一部抽出したものです。

(注2) 「*就学児童」は就学児童保護者調査結果、無印は就学前児童保護者の調査結果。

(1) 子どもの家庭の状況

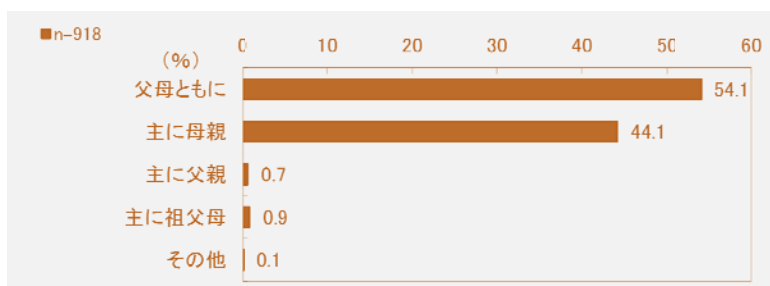
①きょうだいの数

○「2人」が48.4%で最も多く、次いで「3人」が24.9%、「1人」が20.2%です。



②主に子育てをしている方

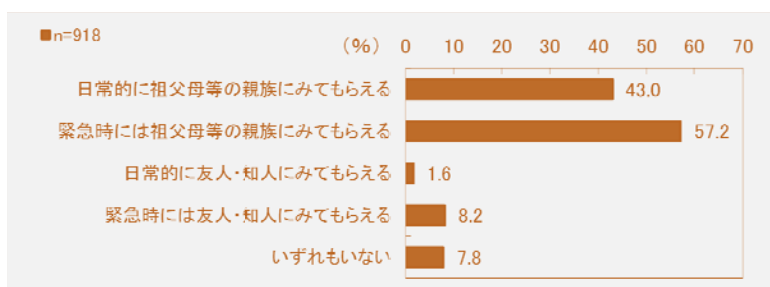
○「父母ともに」が54.1%、「主に母親」が44.1%、「主に祖父母」が0.9%です。



③日頃子どもをみてもらえる

親族・知人の有無

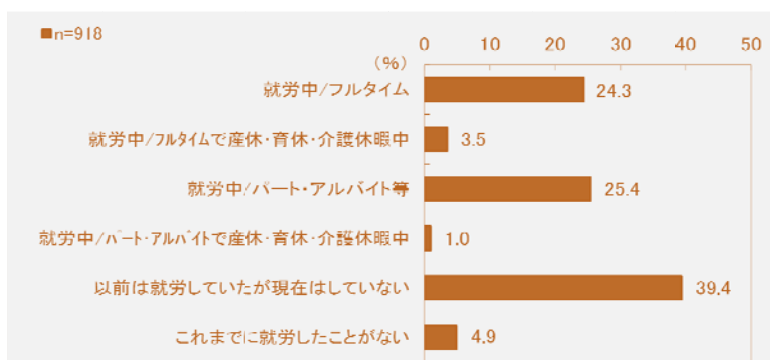
○「緊急時には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.2%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が43.0%、「緊急時には友人・知人にみてもらえる」が8.2%です。



(2) 母親の就労状況

①母親の就労状況

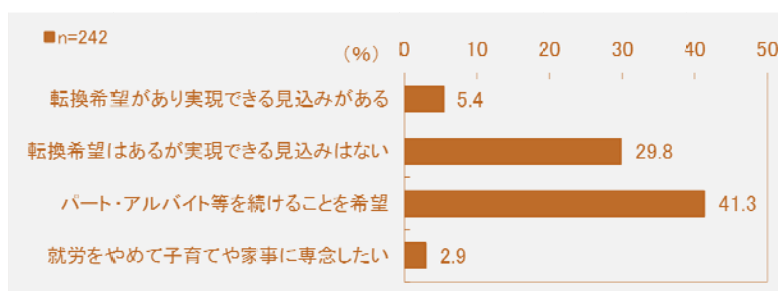
○「以前は就労していたが現在はしていない」が39.4%で最も多く、次に「就労中/パート・アルバイト等」25.4%、「就労中/フルタイム」24.3%です。



(パート・アルバイト等で就労している方)

1) 母親のフルタイムへの転換希望

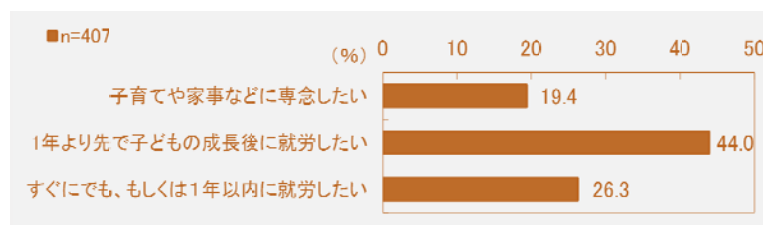
- 「パート・アルバイト等を続けることを希望」が41.3%で最も多く、次いで「転換希望はあるが実現できる見込みはない」が29.8%、「転換希望があり実現できる見込みがある」が5.4%です。



(「以前は就労していたが現在は就労していない」「これまで就労したことがない」方)

2) 母親の就労希望

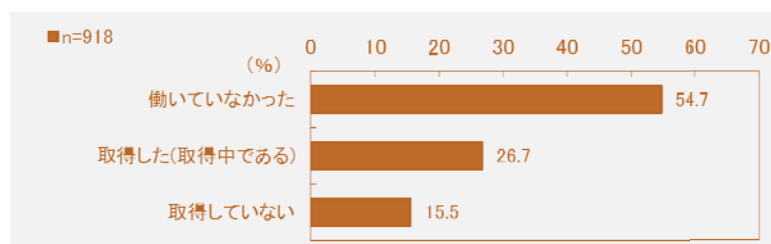
- 「1年より先で子どもの成長後に就労したい」が44.0%で最も多く、次に「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が26.3%、「子育てや家事などに専念したい」が19.4%となっています。



② 育児休業取得の有無

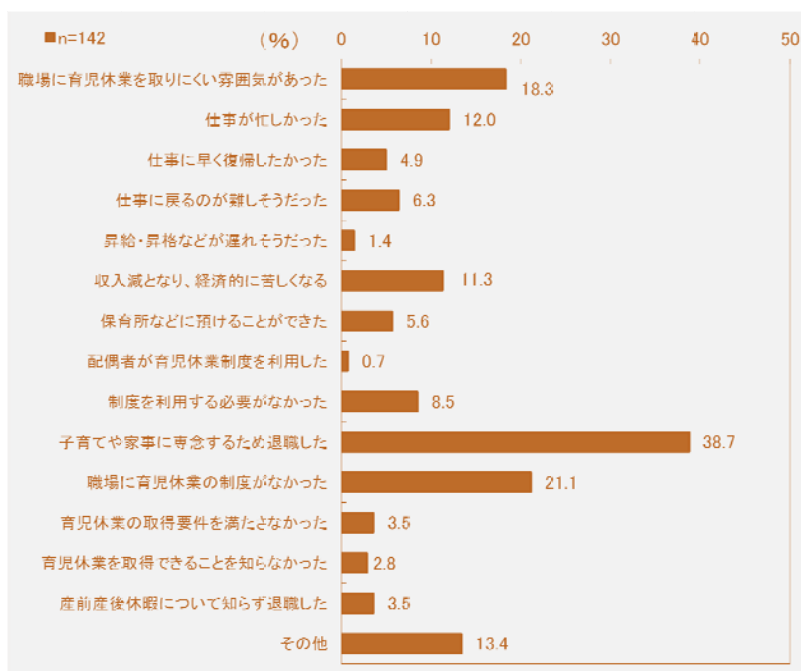
1) 母親の取得状況

- 母親は「働いていなかった」が54.7%で最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が26.7%、「取得していない」が15.5%です。



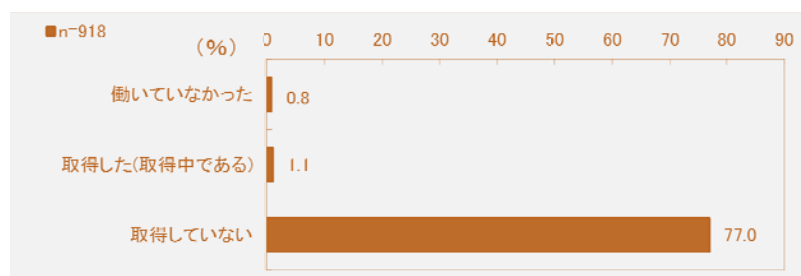
2) 母親：取得していない理由

○「子育てや家事に専念するため退職した」という人が38.7%で最も多く、次に「職場に育児休業の制度がなかった」21.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が18.3%です。



3) 父親の取得状況

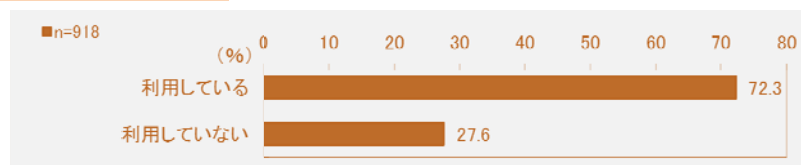
○父親は「取得していない」が77.0%と多数を占めています。



(3) 教育・保育事業の利用現状・利用希望等

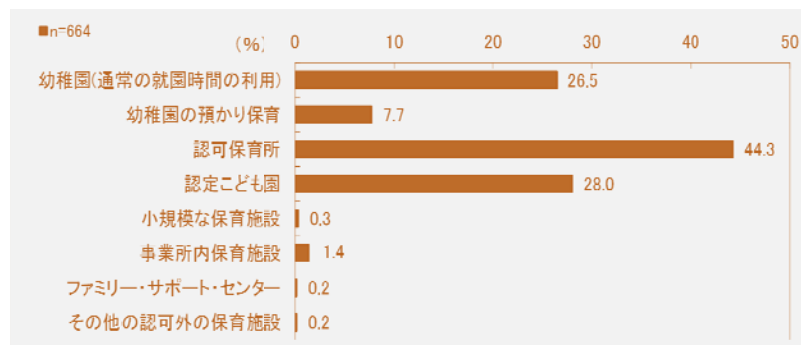
①「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無

○「利用している」が72.3%、「利用していない」が27.6%です。



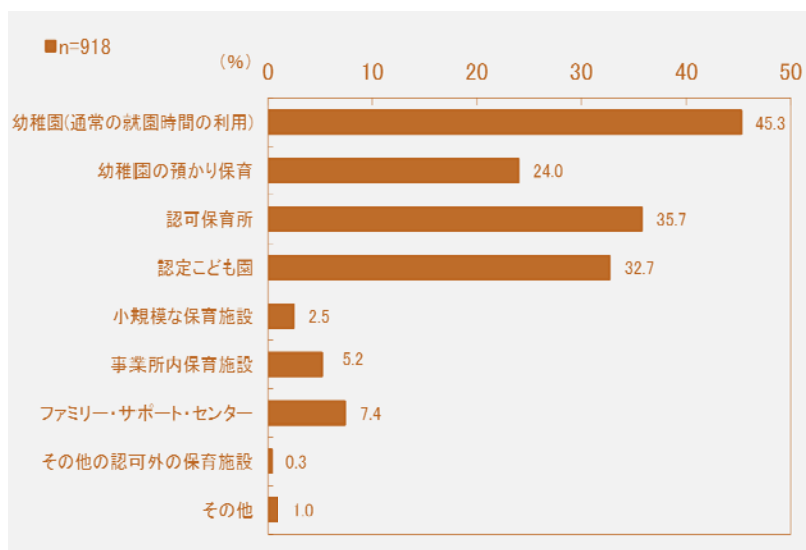
②定期的に利用している教育・保育の事業

○「認可保育所」が44.3%で最も多く、次いで「認定こども園」が28.0%、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が26.5%です。



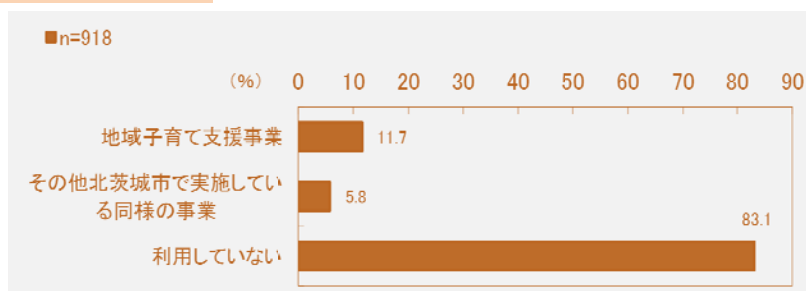
③今後定期的に利用したい教育・保育事業

○「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が45.3%で最も多く、次に「認可保育所」が35.7%、「認定こども園」が32.7%です。



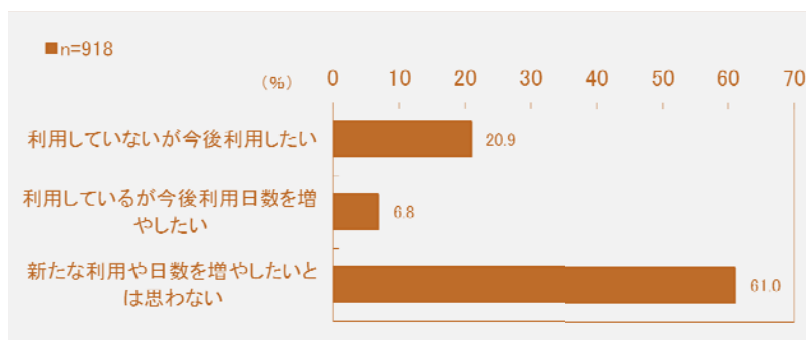
④現在利用している地域子育て支援拠点事業

○「利用していない」が83.1%で最も多く、次いで「地域子育て支援事業」が11.7%、「その他北茨城市で実施している同様の事業」が5.8%です。



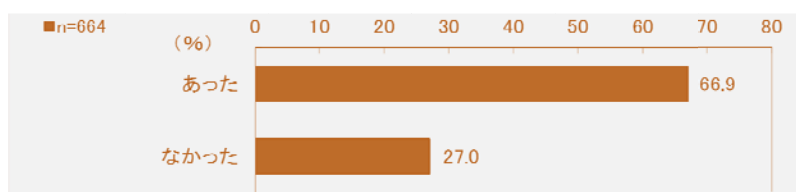
<地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向>

○「新たな利用や日数を増やしたいとは思わない」が61.0%で最も多く、次いで「利用していないが今後利用したい」が20.9%、「利用しているが今後利用日数を増やしたい」が6.8%、「利用しているが今後利用日数を増やしたい」が6.8%です。



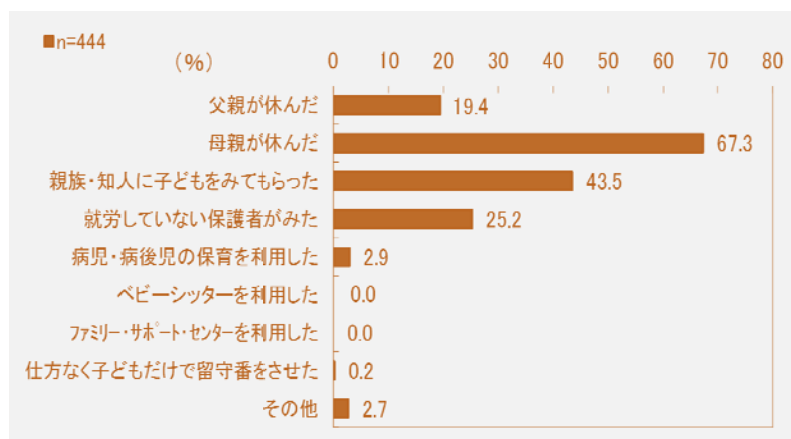
⑤病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったこと

○「あった」が66.9%、「なかった」が27.0%となっています。なお、年齢別では、2歳以下で「あった」割合が高い傾向がみられます。



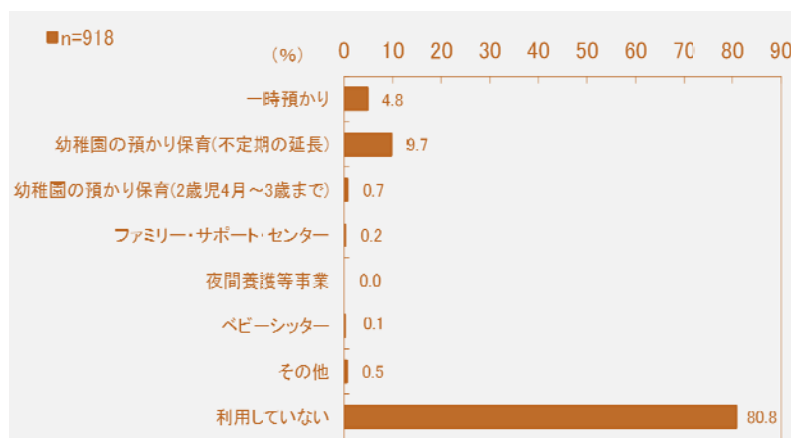
＜病気やケガの時の対処方法＞

○「母親が休んだ」が67.3%で最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が43.5%、「就労していない保護者がみた」が25.2%です。



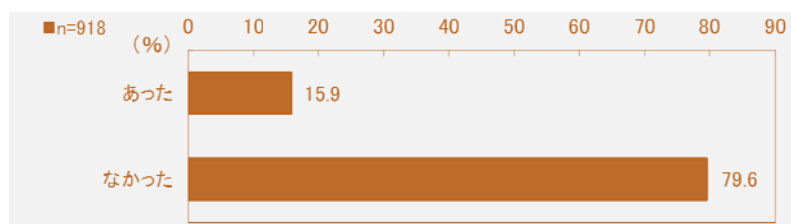
⑥不定期に利用している事業（私用、親の通院、不定期の就労等の目的）

○「利用していない」が80.8%で最も多くなっています。具体的に利用している事業は「幼稚園の預かり保育(不定期の延長)」が9.7%、「一時預かり」が4.8%、「幼稚園の預かり保育(2歳児4月～3歳まで)」が0.7%、「ファミリーサポートセンター」が0.2%、「夜間養護等事業」が0.0%、「ベビーシッター」が0.1%、「その他」が0.5%です。



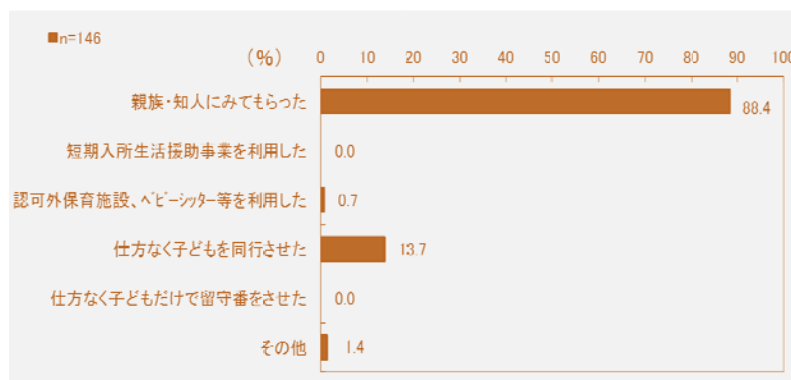
⑦泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと

○「なかった」が79.6%、「あった」が15.9%となっています。



＜対処方法＞

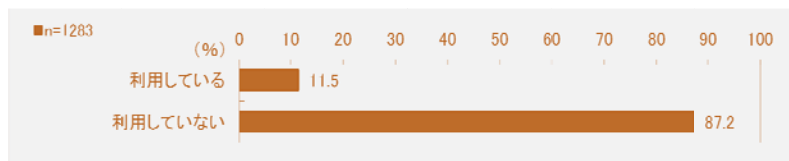
○対処方法は「親族・知人にみてもらった」が88.4%と多数を占めています。



⑧放課後児童クラブの利用状況・利用意向 * 就学児童

1) 放課後児童クラブの利用状況

○「利用していない」が87.2%、「利用している」が11.5%です。



2) 今後の放課後児童クラブの利用意向

○「今後も利用しない」が85.5%、「利用したい」が10.1%です。

○利用したい方の週あたり利

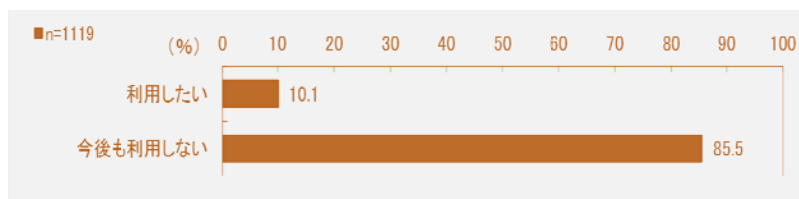
用日数は「週5日」が38.9%

で最も多く、次いで「週3

日」が15.9%です。なお、

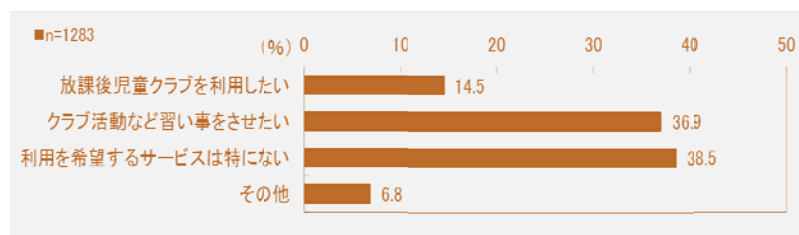
利用したい方の土・日の利

用希望は「なし」が45.1%、「ある」が39.8%となっています。



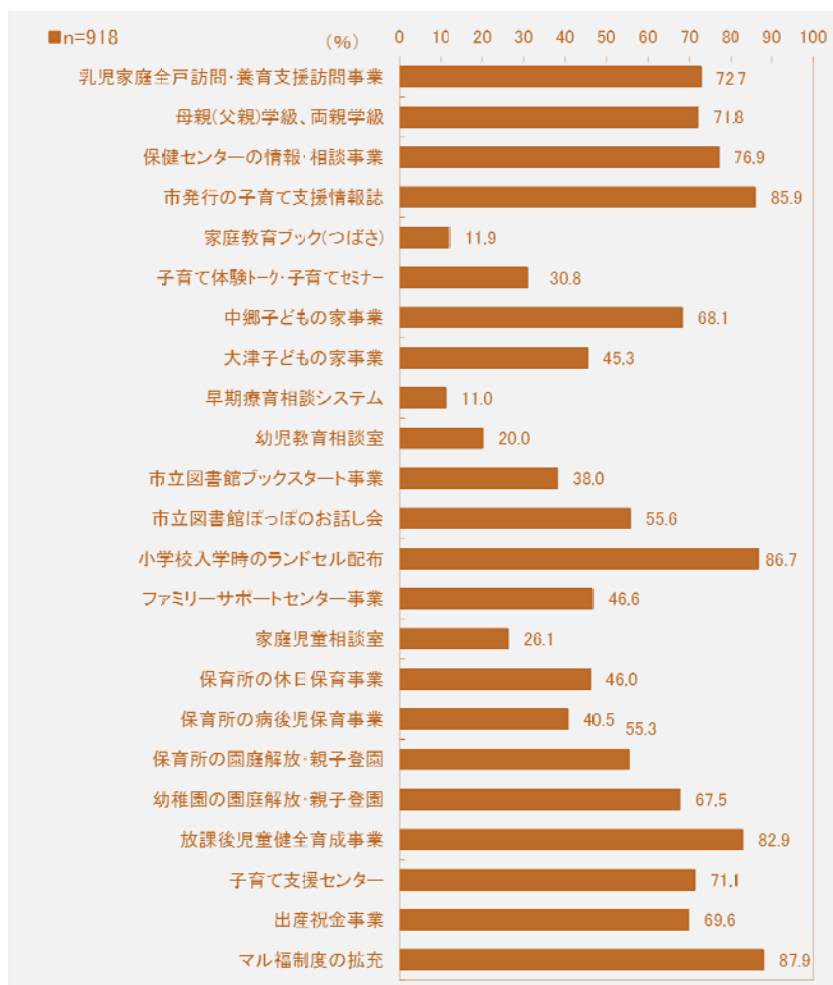
⑨小学4年生以降の希望する放課後の過ごし方 * 就学児童

○「利用を希望するサービスは特にない」が38.5%で最も多く、次いで「クラブ活動など習い事をさせたい」が36.9%、「放課後児童クラブを利用したい」が14.5%です。



⑩市の事業の認知度

○「マル福制度の拡充」が87.9%で最も多く、次いで「小学校入学時のランドセル配布」が86.7%、「市発行の子育て支援情報誌」が85.9%となっています。

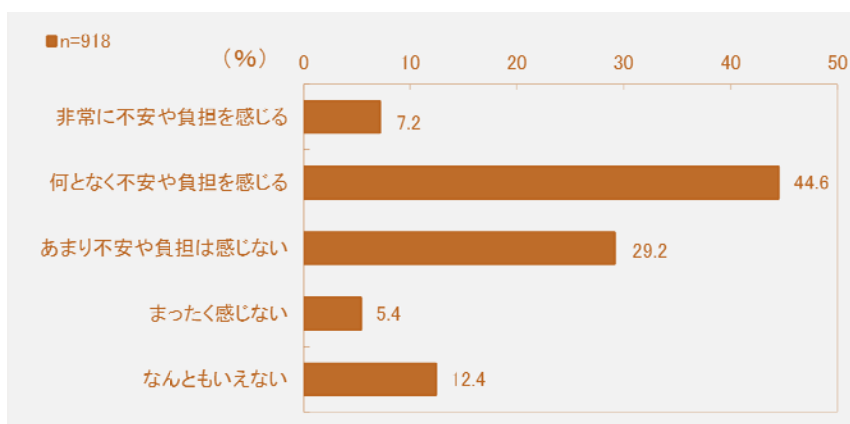


(4) 子育てについての不安・楽しみ

①子育てに関して不安感や負担感を感じること

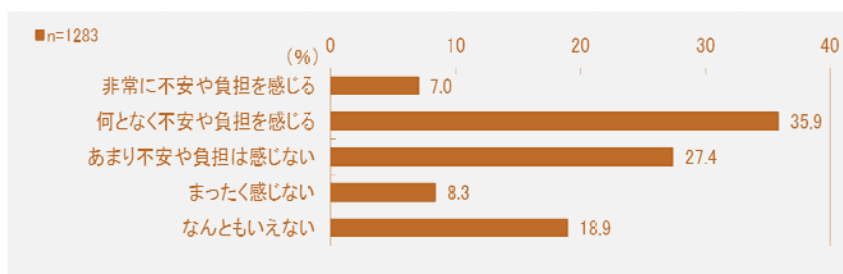
<就学前>

○「何となく不安や負担を感じる」が44.6%で最も多く、次いで「あまり不安や負担は感じない」が29.2%、「なんともいえない」が12.4%です。



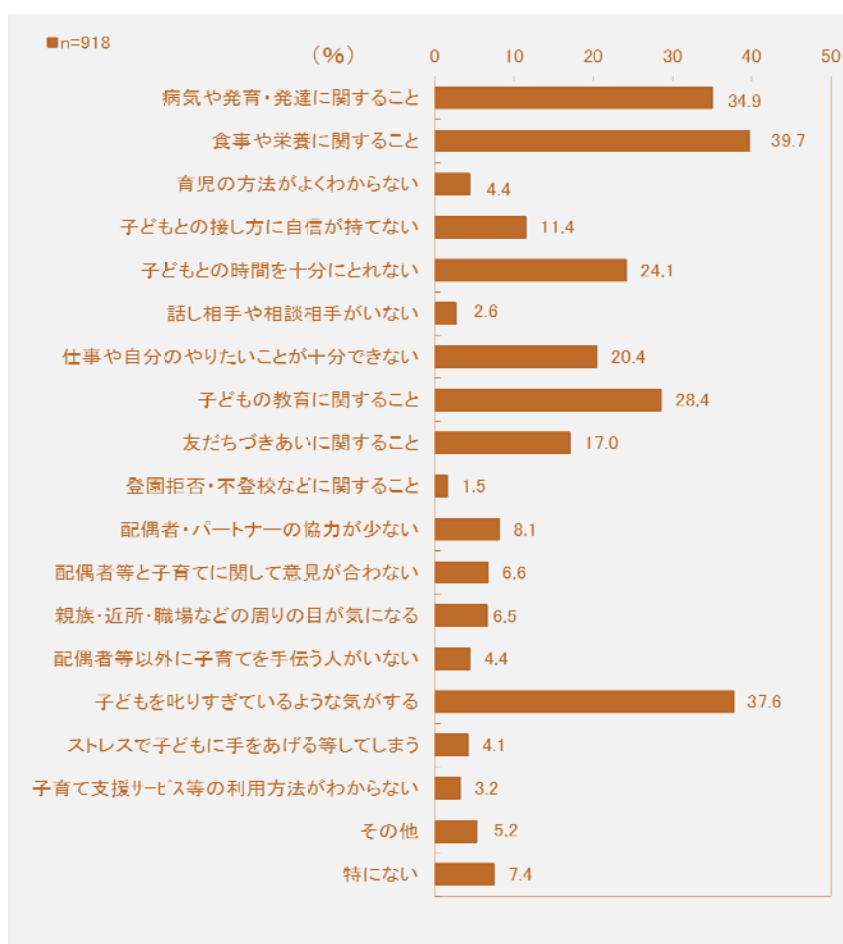
＜就学児童＞

○「何となく不安や負担を感じる」が35.9%で最も多く、次いで「あまり不安や負担は感じない」が27.4%、「なんともいえない」が18.9%となっています。



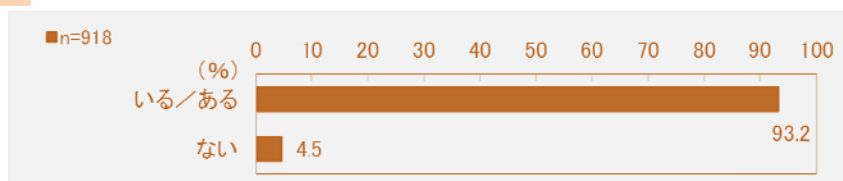
②子育てに関する日頃の悩み、気になること

○「食事や栄養に関すること」が39.7%で最も多く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」が37.6%、「病気や発育・発達に関すること」が34.9%です。



③気軽に相談できる人や場所

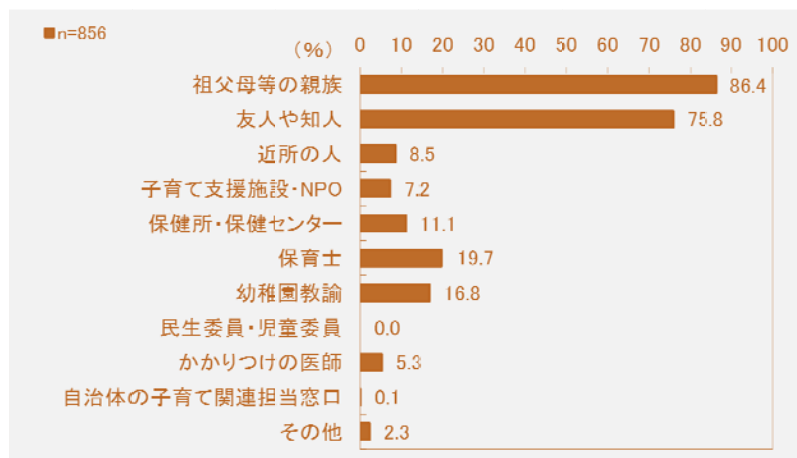
○「いる／ある」が93.2%、「ない」が4.5%です。



(「いる／ある」に○をつけた方)

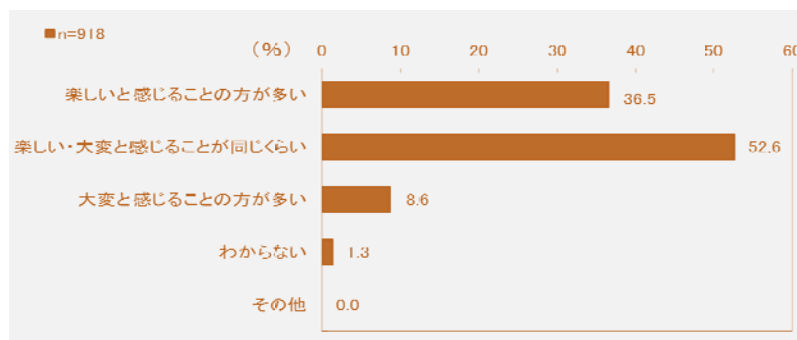
<子育てについて気軽に相談できる相手先>

○「祖父母等の親族」が86.4%で最も多く、次いで「友人や知人」が75.8%、「保育士」が19.7%です。



④子育てについて感じること

○「楽しい・大変と感ずることが同じくらい」が52.6%で最も多く、次いで「楽しいと感ずることが多い」が36.5%、「大変と感ずることが多い」が8.6%です。

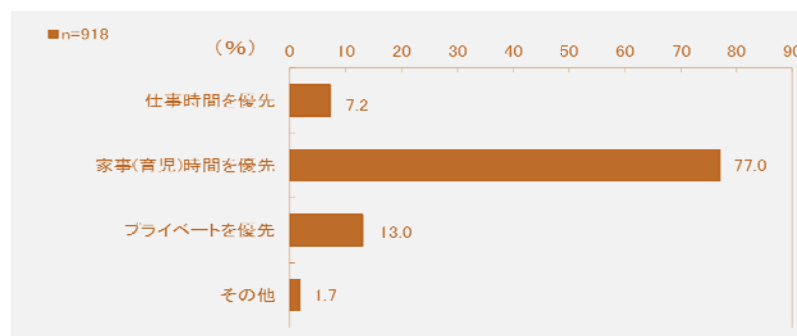


(5) 仕事時間とプライベートの優先度

<就学前>

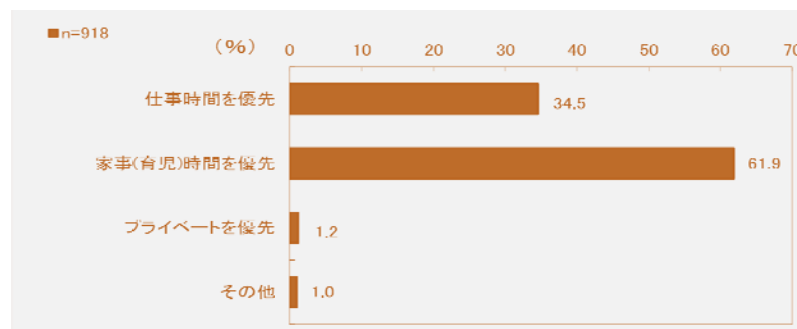
希望

○希望では「家事(育児)時間を優先」が77.0%で最も多く、次いで「プライベートを優先」が13.0%、「仕事時間を優先」が7.2%となっています。



現実

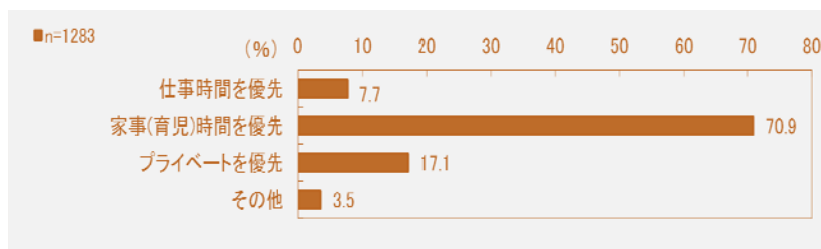
○現実では「家事(育児)時間を優先」が61.9%で最も多く、次いで「仕事時間を優先」が34.5%、「プライベートを優先」が1.2%となっています。



<就学児童>

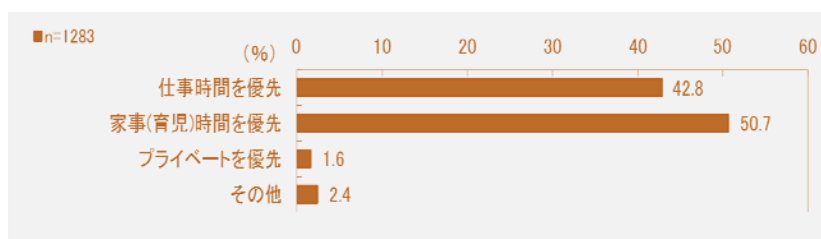
希望

○希望では「家事（育児）時間を優先」が70.9%で最も多く、次いで「プライベートを優先」が17.1%、「仕事時間を優先」が7.7%となっています。



現実

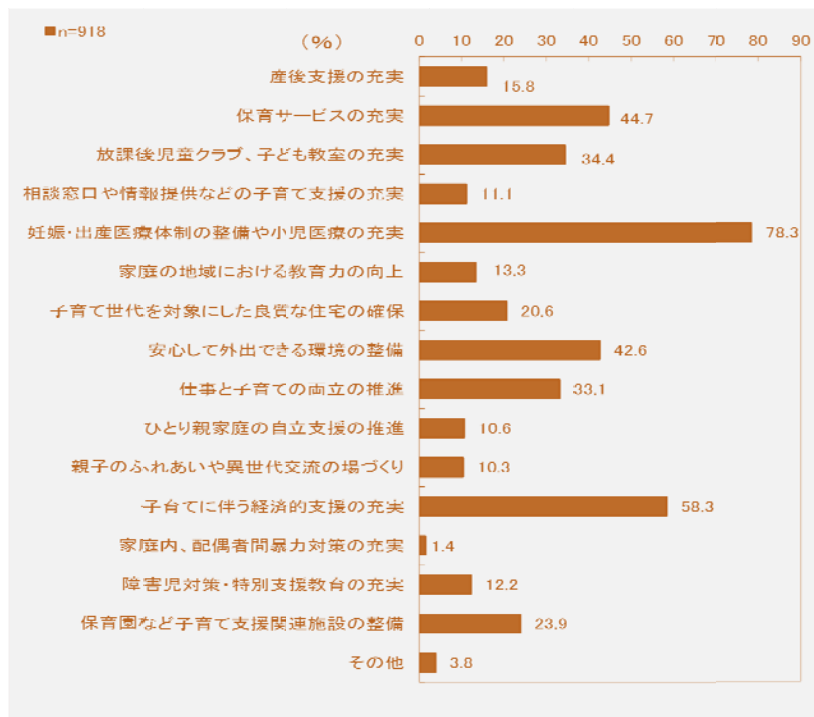
○現実では「家事（育児）時間を優先」が50.7%で最も多く、次いで「仕事時間を優先」が42.8%、「プライベートを優先」が1.6%となっています。



(6) 市の施策について

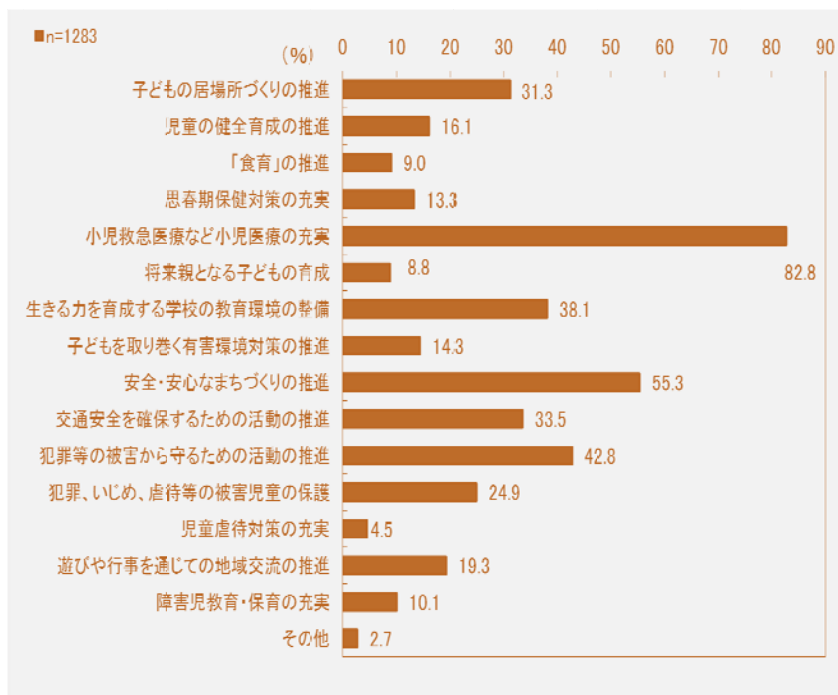
①市が重点的に取り組む必要性が高い施策

○「妊娠・出産医療体制の整備や小児医療の充実」が78.3%で最も多く、次いで「子育てに伴う経済的支援の充実」が58.3%、「保育サービスの充実」が44.7%です。



②市が重点的に取り組む必要性が高い施策 * 就学児童

○「小児救急医療など小児医療の充実」が82.8%で最も多く、次いで「安全・安心なまちづくりの推進」が55.3%、「犯罪等の被害から守るための活動の推進」が42.8%です。



資料2 北茨城市子ども・子育て会議条例

平成25年6月25日
条例第14号

(設置)

第1条 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号。以下「法」という。）第77条第1項の規定に基づき、北茨城市子ども・子育て会議（以下「会議」という。）を置く。

(組織)

第2条 会議は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、保護者（法第6条第2項に規定する保護者をいう。）、事業主を代表する者、労働者を代表する者、子ども・子育て支援（法第7条第1項に規定する子ども・子育て支援をいう。以下同じ。）に関する事業に従事する者、子ども・子育て支援に関し学識経験のある者その他市長が必要と認める者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長)

第4条 会議に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、会議を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は、会長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(関係者の出席)

第6条 会議は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年8月1日から施行する。

（北茨城市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正）

2 北茨城市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和36年北茨城市条例第4号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

資料3 北茨城市子ども・子育て会議委員名簿

No.	団体名等	役職名等	氏名	備考
1	公募委員	保護者	山崎 英子	
2	公募委員	保護者	岩瀬 忍	
3	事業主代表（幼稚園）	（学）豊田学園理事長 （旭幼稚園）	豊田 海洋	
4	事業主代表（保育所）	（福）清和会理事長 （みなみ保育園）	小池 健	
5	事業主代表（児童クラブ）	（福）丸昌会理事長 （中郷フレンドリーク ラブ）	渡邊 操	
6	労働者代表（連合北茨城協 議会推薦）	武蔵野化学労働組合代 表	鈴木 康治	
7	学校代表者	中妻小学校長	戸倉 雅子	
8	市議会議員代表	文教厚生委員長	蛭田 千香子	副会長
9	学識経験者	東北福祉大学教授	三浦 剛	
10	学識経験者	元教育委員	大塚 淳子	
11	社会福祉協議会 （子育て支援事業従事者）	事業推進課長	瀧 利博	
12	北茨城市	副市長	石田 奈緒子	会長
13	北茨城市	市民福祉部長	神尾 武仁	H26.3.31まで
			高星 秀穂	H26.4.1から
14	北茨城市	教育次長	滑川 精一	
15	北茨城市	保健センター 未就学児担当保健師	篠原 はるみ	H26.3.31まで
		健康づくり支援課 未就学児担当保健師	安島 はるな	H26.4.1から

※平成26年4月1日、市の機構改革により保健センターが健康づくり支援課となる。

資料4 子ども・子育て会議のこれまでの経過

年度	月日	内容
平成25年度	8月26日	第1回北茨城市子ども・子育て会議 (1)概要説明 (2)ニーズ調査(案)について (3)その他
	9月～10月	就学前・就学児童の子育て家庭へのアンケート調査の実施
	3月25日	第2回北茨城市子ども・子育て会議 (1)次世代育成計画の検証について (2)新制度実施計画における区域の設定について (3)ニーズ調査結果を踏まえた「保育に欠ける児童」の基準時間の設定について (4)今後の審議内容とそのスケジュールについて (5)その他
平成26年度	5月27日	第1回北茨城市子ども・子育て会議 (1)北茨城市子ども・子育て支援事業計画について (2)教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業に関する量の見込みの考え方について (3)策定スケジュールについて (4)その他
	6月25日	第2回北茨城市子ども・子育て会議 (1)量の見込みの設定及び確保方策について (2)子どもをとりまく現状・課題について (3)その他 ○利用者負担について ○次回日程について
	8月19日	第3回北茨城市子ども・子育て会議 (1)量の見込みの設定及び確保方策について (2)新計画の策定について (3)その他 ○子ども・子育て支援新制度に係る基準(案)について
	11月27日	第4回北茨城市子ども・子育て会議 (1)子ども・子育て支援事業計画(素案)について (2)子ども・子育て支援新制度における保育料(案)について (3)その他
	1月20～2月9日	パブリックコメント実施
	2月24日	第5回北茨城市子ども・子育て会議 (1)子ども・子育て支援事業計画(素案)について (2)子ども・子育て支援新制度における保育料(案)について (3)子ども・子育て支援法に基づく過料の規定について (4)その他